

遠野市監査委員告示第2号

平成26年2月12日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子

遠野市監査委員 佐々木 資光

遠野市監査委員 荒川 栄悦

平成25年度定期監査結果報告書（後期）

1 監査の目的

定期監査は、平成25年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業が地方自治法第2条第14項及び第15項の趣旨に則り、合理的かつ効率的に行われているかどうかについて監査することを目的に、同法第199条第4項の規定に基づいて実施したものである。

2 監査の期日及び対象課等

- (1) 実施期間 平成26年1月9日から1月27日までに延べ8日
 (2) 監査対象及び説明聴取の実施期日 次表のとおり20課等及び小中学校については、14校中9校を対象に実施した。

月 日	対 象 課 等
1月9日	綾織小学校、鱒沢小学校、遠野中学校、遠野西中学校
1月10日	遠野北小学校、小友小学校、遠野東中学校
1月15日	宮守小学校、達曽部小学校、小友地区センター、宮守地区センター
1月17日	松崎地区センター、上郷地区センター、学校給食センター、総合食育推進課
1月20日	学校教育課、教育研究所、調査研究課、文化課
1月22日	附馬牛地区センター、土淵地区センター
1月24日	青笹地区センター、綾織地区センター、国体開催推進室、生涯学習スポーツ課
1月27日	子育て総合支援課、教務課、遠野地区センター、市民協働課

3 監査の内容

(1) 所管事務の執行状況

35の事務事業について、財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているか、各種の事業が合理的かつ効率的に行われているかを主眼として監査した。

(2) 共通事項

- ア 各課等で該当する使用料・手数料
- イ 現金等の保管状況
- ウ 郵便切手類の保管及び受払
- エ 物品の管理及び出納
- オ 車両の運行管理

4 監査の方法

監査書類の提出又は提示を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

5 監査の結果

各課等で所管する事務事業から抽出した予算執行及び事務事業並びに共通事項を監査した結果は、別記のとおりである。

監 査 結 果

事務処理上の軽易な誤りや不備な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善又は検討するよう述べたので、本書への記述を省略する。

【所管事務の執行状況及び意見等】

1 文化課

所管事務は、文化遺産の保護及び振興並びに普及に関すること、文化に係る施策の企画及び連絡調整に関すること、遠野遺産認定条例に規定する遠野遺産に関すること、郷土芸能の育成・振興に関すること、図書館及び博物館に関すること等である。

○千葉家重要文化財指定整備活用事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野市が財産取得した重要文化財である千葉家住宅の適切な保管及び活用を図るため、受付管理業務を一般社団法人遠野ふるさと公社に業務委託した経費であり、適正に事務が執行されていると認められる。

来年度の契約更新に向け、業務委託金額の検証、管理日誌の様式の見直し、改修工事期間中における誘客のための情報発信、地域の大切な財産に対する理解や評価を高めるための研修会の開催等について要望する。

○佐々木喜善没80年記念事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

とおの物語の館リニューアルオープン式演出業務、夏季特別展「佐々木喜善と宮沢賢治」、秋季特別展「西のメルヘン、東の昔話～佐々木喜善とグリム兄弟～」の開催に係る経費であり、佐々木喜善の業績を広く市民へ周知したことは評価でき、適正に事務が執行されていると認められる。

「遠野物語」発刊100周年、佐々木喜善没後80年に続く周年企画については、区切りの良さだけで検討せず、社会情勢の変化を先読みし、新たな市民意識を創造できるタイミングでの企画、打ち出しを期待する。また、誘客につながる遠野座の活用方法について、とおの物語の館の指定管理者に対する指導を要望する。

2 調査研究課

所管事務は、遠野の文化に係る総合的な施策の推進に関すること、遠野文化研究センター運営委員会に関すること、遠野の文化に係る市民団体に関すること、遠野文化賞に関すること、その他遠野の文化の調査研究に関すること等である。

○遠野文化調査研究費（遠野文化フォーラム開催経費）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成25年11月3日の「遠野文化フォーラム」開催に係る経費であり、ドイツのシュタイナウ・グリム博物館長による講演「グリム童話と地域づくり」、シンポジウ

ム「昔話の語り部たち－佐々木喜善とグリム兄弟－」、「幻想の作家・佐々木喜善－朗読の夕べ」等は、世界へ向けて遠野文化を強く発信した事業と評価したい。

○遠野文化研究センター事業費（遠野文化研究センター機関誌企画編集等制作業務）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

「遠野物語」発刊100周年を契機として遠野の文化を多面的に解明し、「遠野物語」の意義や価値を見出すとともに、元気なまちの創造・発展に寄与するための情報発信媒体として遠野文化研究センター機関誌「遠野学」、遠野文化研究センター友の会会員及び全国のファンへの情報誌として「マヨイガ」を製作出版しているが、適正に事務が執行されていると認められる。

また、遠野文化研究センターは「三陸文化復興プロジェクト」の献本活動として195,609冊を登録し、19市町村105箇所（124,533冊）を配本（平成25年12月末現在）、文化財レスキューとして大槌町図書館資料を修復、遠野「語り部」1000人プロジェクト事業として今までに590人を認定、市民講座事業として土曜講座を7回、金曜夜の読書会「遠野古事記を読む」を9回開催しているほか、14回にわたって研修会等へ講師派遣するなどしているが、これらの活動は大いに評価できる。

3 市民協働課

所管事務は、市民センター及び地区センターの事務及び事業の総合調整に関すること、市民憲章運動に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、交通対策及び交通安全対策の総合的な企画、調整及び推進に関すること、消費者の保護及び消費生活相談窓口に関すること、市民センター施設の管理及び整備並びに利用の許可に関すること、地域活動専門員に関すること等である。

○地域活動専門員の活動状況について

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

現在11名の地域活動専門員を配置し、地域課題の把握、解決等に当たっているが、その位置付けや活動目標の明確化と3箇月に1回程度の活動状況報告による情報の共有化等で、さらに活動成果が上がることを期待する。

○体育施設管費（市民プール代替施設利用業務委託料）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

特になし

4 生涯学習スポーツ課

所管事務は、生涯学習の推進に関すること、男女共同参画社会の推進に関すること、高齢者団体の育成並びに高齢者の教養及び健康づくり活動に関すること、青少年の指導及び育成に関すること、勤労青少年ホームの管理運営に関すること、少年センターの運営に関すること、社会教育活動の推進に関すること、家庭教育に関すること、各

種学級講座の開設に関すること、芸術文化活動の推進に関すること、市民センターの自主事業に関すること、健康づくりに係る事業の総合調整に関すること、市民の健康づくり総合プログラムの推進に関すること、生涯スポーツ施設に関すること、競技スポーツの向上に関すること等である。

○生涯学習のまちづくり推進費（遠野市教育文化振興事業委託料）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野市第三セクターなどの地域経営改革実行計画と公益法人制度改革に伴い、平成24年10月1日に遠野国際交流協会と統合して新たに設立された財団法人遠野市教育文化振興財団に対して、それまで市の直接事業であった国際交流、生涯学習の推進、市民センターの自主事業等を業務委託によって実施していたが、適正に事務が執行されていると認められる。今後は財団のプロパー職員を育成して派遣している市職員を引き上げるなど、遠野市定員管理計画の着実な推進を期待する。

○放課後子どもプラン推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

家庭学習の習慣化を目的に平成19年度から始められた「放課後子ども教室」は、小学校、児童館、児童クラブ、地区センターを利用して9教室が開設され、11月末で11,172名の児童が利用していたが、小学生の学力向上につながる事業として、適正に事務が執行されていると認められる。今後は、各教室に配置されている学習アドバイザー及び安全管理員について、より資質の向上を図るため、定期的な研修会等の開催を期待する。

〔所管事務に対する意見・要望〕

各地区センターで工夫を凝らして開催している健康スポーツプログラム推進事業（サテライト校）等各種学級・講座が公民館主事等研修会などを通じ、所管課の指導のもと、さらに内容の充実が図られることを要望する。

5 国体開催推進室

所管事務は、第71回国民体育大会の開催準備の総合的な企画及び調整に関すること、国体の競技施設の整備及び管理に関すること、国体の協議運営に関すること、その他国体に関することである。

○岩手国体サッカー会場整備事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成28年10月開催の希望郷いわて国体少年男子サッカー競技会場として、国体記念公園市民サッカー場A面の人工芝、遠野運動公園多目的運動広場の天然芝の整備事業である。工事期間が冬期間に重なり地盤の安定等を図るために繰越をする予定とのことであるが、特に気候環境的に敷設が難しいと思われることから天然芝の選

定、管理には充分な対応を要望する。

6 地区センター(地区公民館)

所管事務は、市民憲章の普及推進に関すること、市政懇談会に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、婦人学級・高齢者学級・家庭教育学級その他の学級講座の開催に関すること、体育・スポーツ・レクリエーション活動に関すること、社会教育団体、地域団体の連絡協調に関すること等である。

○健康スポーツプログラム推進事業費（サテライト校分）

〔指摘事項〕

市民の健康づくり総合プログラム推進のために健康福祉の里で保健プログラムを、市民センター及び各地区センターでは健康スポーツプログラムを推進する事業であるが、地区センターによっては参加者が少ないところもあるほか、地域ICT健康増進ネットワークプログラム事業も実施されており、効率的な事業推進を図るため、所管課において遠野市健康づくり総合大学「とすば」事業の検証が必要である。

〔意見・要望〕

スポーツに親しむ機会の少ない市民に対し、健康スポーツ教室を開催することによってスポーツ人口を増やすことを目的とした事業であるが、少子高齢化が進み対象人口が減少したこと等によって事業実施が困難な地区が見受けられる。

一般成人を対象とした健康スポーツプログラムについては、各種目別協会、各スポーツクラブ、総合型地域スポーツクラブ、(株)遠野施設管理サービスの教室等の活用を検討し、地域ICT健康増進ネットワークプログラム事業と遠野市健康づくり総合大学「とすば」事業については、さらなる連携による健康づくり事業の再構築が費用対効果の観点からも所管課に望まれる。

〔所管事務に対する意見・要望〕

市のホームページや広報紙を通じた情報発信の強化、地域課題の把握、学級講座のニーズの掘り起し等が、市民センターや他の地区センターとの連携や情報共有によってさらに進み、地域づくり活動がより活発に行われることを期待する。

なお、「健康づくりプログラム推進事業費（サテライト校分）」及び地域づくり活動についての各地区センターに対する意見等については、次のとおりである。

地区センター	監 査 意 見 等
遠 野	<p>「1ヶ月で腹回り-5cmを目指す教室」として2月27日から4回の教室を松崎地区センターと共催し、あえりあ遠野中ホールで開催する計画とのこと。</p> <p>スポーツ振興くじ（toto）の助成金を活用した総合型地域スポーツクラブ「とおのスポーツクラブ」（会員数155名）の活動支援・連携による健康づくりにも取り組まれていた。</p> <p>そのほか「鍋城大学」、「家族とひなまんじゅう教室」、「女</p>

	<p>子力アップ講座」を今後開催予定とのことである。</p> <p>地域づくり活動については、遠野さくらまつりのメイン行事である「南部氏遠野入部行列」の内容充実による城下町文化の継承、自主防災組織の活動強化、災害時要援護者見守り体制の強化、地域で子どもを見守り育てる活動の推進等超高齢社会に対応した活動が行われていると認められる。</p>
綾 織	<p>「生活の一部としてスポーツしま専科」を8月28日から9月25日までの間、地域ICT健康増進ネットワークプログラム終了後に(株)遠野施設管理サービスの職員を講師に4回開催し、毎回7名から10名程度の参加者が有り、適正に事務が執行されていると認められる。</p> <p>また、10月28日は「四宮洋平タグラグビークリニック」を開催し、地域の青年が健康づくりを通じて交流を深めていると認められる。</p> <p>この他に「快適な田舎暮らし講座」として食文化への取り組みや岩手ビッグブルズダンスを招いてのチアクリニック開催など、全世帯加入の総合型地域スポーツクラブとの連携、地域活動専門員の健康づくりを通しての地域づくり活動が、通年にわたり活発に行われていることは評価できる。</p>
小 友	<p>「スポーツしま専科」として1月20日から(株)遠野施設管理サービスの職員を講師に脳と神経を活性化させるコーディネーショントレーニングを5回開催する予定であり、1月15日現在、16名の参加申し込みがあった。</p> <p>中学校再編成により小友中学校が閉校となったものの、各地区のコミュニティの力で長野まつり、八坂神社まつり、鷹鳥屋まつり、小友まつりが継続して開催されているほか、西中学校等の協力によりしし踊り、神楽等各郷土芸能や御祝いの伝承活動に取り組みされていた。また、地域活動専門員による産直ともちゃんとの連携によるインターネットを活用した「井戸端スクリーン商店」等の取り組みは地域活性化につながるものと評価したい。</p>
附 馬 牛	<p>12月6日から27日までの間、地域ICT健康増進ネットワークプログラム終了後「健康づくり教室」を5回開催し、1回あたり5～6名が有酸素運動等を行っていたが、適正に事務が執行されていると認められる。</p> <p>また、サテライト校事業のほか健康福祉の里長寿課との連携で介護予防教室「シニアうきうき教室」を1月10日から2月7日までの間に5回、2月14日からはセラバンド教室を6回開催することとしており、介護予防、健康づくり活動を推進していると認められる。</p> <p>中学校再編成後、郷土芸能団体の伝承活動が課題となったが、各団体が工夫を凝らして荒川駒形神社、早池峰神社、菅原神社の</p>

	<p>例大祭や遠野まつりに積極的に参加しているほか、地域活動専門員が自主防災マップの作成や地域課題の明確化のための全町民アンケートの実施に取り組むなど、地域づくり活動が活発に行なわれていると認められる。</p>
松 崎	<p>「いきいきセラバンド健康教室」として遠野地区センターと共催により12月2日から1月27日までの間、(株)遠野施設管理サービスの職員を講師に5回開催、18名の参加申し込みがあり、適正に事務が執行されていると認められる。</p> <p>2月4日からは「いきいきヨガ&体操教室」（定員20名）を5回開催し、健康づくりを推進する予定とのこと。</p> <p>小学校の学年行事等と連携して10月13日に開催した地域の歴史・文化探訪を目的とした「松崎町さわやかウオーキング」には100名を越える参加者があった。1月10日には白岩保育園、松崎保育園等との連携による小正月伝承行事を開催し、みずき団子づくり、お田植え伝承、昔話、子ども達になめこ汁、きなこ餅、あんこ餅をふるまう等世代間交流を通じた地域づくり活動が活発に行なわれていると認められる。</p>
土 淵	<p>「みんなで一緒にふまねっと教室」として10月17日から11月21日までの間、6回開催されており、1回あたりの参加者は4名から6名であったが、適正に事務が執行されていると認められる。</p> <p>また、1月30日から3月13日までの間、「筋力アップとヨガストレッチでからだぽかぽか教室」を6回開催する予定となっている。</p> <p>地域活動専門員が中心となり、毎日午後3時から遠野テレビの音声告知放送でラジオ体操を流しての健康づくり、倭文神社を会場に1000人以上が集う「土淵まつり」の開催、佐々木喜善の命日に保育園、小学校との連携による「佐々木喜善祭」の実施等多彩な地域づくり活動に取り組んでいると認められる。</p>
青 笹	<p>「青笹もりもり健康教室」として1月23日から3月27日までの間、地域ICT健康増進ネットワークプログラム終了後に9回開催する予定。内容はヨガ、セラバンド、ストレッチ、リズム体操で構成されており、適正に事務が執行されていると認められる。定員15名に対する初回参加者は12名であった。</p> <p>子育て環境が整っている地区でもあり、世帯数、人口ともに増加しており、小中学校等との連携による地域ぐるみの子育て支援、交通安全活動、防犯活動等が活発に行われているほか、毎月ミニ広報を発行するなどコミュニティ活動の推進も図られていた。</p> <p>中学校再編成後も工夫を凝らして郷土芸能の伝承活動にも取り組まれていると認められる。</p>

上 郷	<p>「センニンスポーツ教室」9月講座としてグラウンドゴルフ教室、ペタンク教室、太極拳教室、ウォーキング教室を開催し、延べ29名が参加、適正に事務が執行されていると認められる。</p> <p>今後は、2月に「センニンスポーツ教室」冬講座を3回、2月から3月にかけて「コーディネーショントレーニング教室」を2回開催する予定である。また、食生活改善グループ等との連携による食育活動、毎月発行のミニ広報紙によるコミュニティづくりにも取り組んでいる。</p> <p>地域の少子高齢化が進む中、地域活動専門員が中心となり「上郷元気隊」の結成、婚活支援による若者定住対策、旧上郷中学校校舎の利活用支援に取り組んでいると認められる。</p>
宮 守	<p>(株)遠野施設管理サービス、宮守町総合型地域スポーツクラブとの共催により6月5日から4回「ヨガ教室」を開催していた。新町集会所で午後6時30分から2時間の教室であったが、参加申込者は40代、50代の女性を中心に14名であり、適正に事務が執行されていると認められる。また、1月14日からは、みやもりホール、達曽部多目的研修集会施設を会場にエアロビクスやバランスボールを利用した「チャレンジ・エクササイズ」を午後6時30分から8回開催しており、毎回10名程度の参加がある。</p> <p>生涯学習講座として、小学生を対象とした「森の学校稲荷穴塾」を5回開催し、山菜取り、魚釣り体験等を実施したほか、一般を対象とした「みやもり銀河カレッジ」として料理教室3回、つるし雛作り講座を2回開催する計画である。</p> <p>コミュニティ活動の推進としては、稲荷穴まつり、躍進みやもりまつり、めがね橋「復興支援・光のページェント」等を開催するなど、宮守総合支所と一体となった地域づくり活動は評価できる。</p>

7 子育て総合支援課

所管事務は、少子化対策及び子育て支援の総合的な施策の推進に関すること、市立保育所の管理運営に関すること、児童扶養手当に関すること、ひとり親家庭及び寡婦の福祉向上に関すること、私立幼稚園の運営費助成に関すること、私立幼稚園の振興に関すること、市立幼稚園の管理運営及び入園・退園に関すること、児童福祉施設への措置等に関すること、家庭児童相談及び婦人指導に関すること、療育支援教室の運営に関すること、保育所における保育に関すること、特別保育及び認可外保育施設に関すること、児童館及び母親クラブの運営及び指導に関すること、児童館及び児童遊園の整備及び管理に関すること、市立幼稚園の設置及び廃止に関すること等である。

○わらすっこの誕生応援事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

新規事業として市内の医療機関等の協力を得て、平成25年4月1日以降に誕生した子どもの保護者に対しインフルエンザウィルス、ロタウィルスのワクチン予防接種や一時、休日及び病児等保育の支払に利用できる1万円分の子育て応援券を配付している。小学校就学前までの保護者の経済的負担の軽減を図り次子誕生の奨励を図ることを目的とした事業であるが、ワクチン接種率が向上するなど事業効果が認められる。

また、平成20年度から実施している地元産材を使った「名前入り木製写真立て」については、より安全・安心のための細やかな改良の努力も継続していただきたい。

○わらすっこの育ち療育支援事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

特になし

8 教務課

所管事務は、教育委員会の会議に関すること、教育行政の長期かつ総合的な計画の策定に関すること、児童及び生徒の就学に関すること、就学困難な児童及び生徒の就学援助に関すること、児童及び生徒の交通安全対策に関すること、市立学校の設置、管理及び廃止に関すること、市立中学校の再編成に関すること、児童及び生徒の通学対策に関すること、教材の整備に関すること、奨学生選考委員会及び奨学資金貸与に関すること等である。

○通学対策費(中学校生徒送迎バス運行業務委託料)

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

中学校再編成により運行路線、業務委託業者も増加したが、より安全を期すための情報収集も徹底され、運行トラブルもなく順調に運行されていた。スクールバスは朝夕の送迎以外にも有効に活用され、特別運行等きめ細かいサービスが提供され

ており、適正に事務が執行されていると認められる。

9 学校給食センター

所管事務は、給食センターの施設及び設備の管理に関する事、給食計画の運営に関する事、給食物資の購入、検収及び保管に関する事、給食の栄養献立・栄養指導及び衛生指導に関する事、給食の配送及び回収に関する事、給食費の収納及び未納対策に関する事、地産地消給食に関する事等である。

○学校給食事業費(学校給食用製パン特別加工及び輸送業務)

〔指摘事項〕

業務委託仕様書中、業務従事者の衛生管理及び健康管理の「毎月2回、細菌検査を実施すること。」等の項目に報告義務を明記されたい。また、製造施設・設備の衛生管理について、必要がある場合には立入検査ができることを明記されたい。

〔意見・要望〕

学校給食の異物混入事故発生時の対応マニュアル、連絡体制、再発防止対策については策定されていたが、混入した異物の特定や混入ルート の究明が不十分であると思われた。混入した異物ごとの防止対策が必要なことから、食材納入時検収の際の可否の判断基準の明確化、総合衛生管理としての飛来虫等の害虫駆除回数・方法等についての検討、調理委託業者との情報共有及びトラブル発生時の一体となった対応体制の再構築、給食配送から学校での配膳までのマニュアル（ガイドライン）の整備にさらに取り組み、委託業者を含めた職員、学校がより緊密に連携した安全でおいしい学校給食の提供を望む。

10 総合食育推進課

所管事務は、食育推進計画に関する事、食育の普及事業に関する事、その他食育に関する事である。

○総合食育センター整備記念事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

給食配送車のラッピングは、児童生徒が描いたかわいい絵で行われ、市内を走る姿は子ども達の夢を配送しているようで評価できる。

11 学校教育課

所管事務は、市立学校の組織編成及び管理運営に関する事、市立学校職員の任免、分限、懲戒及び服務に関する事、市立学校の学級編成に関する事、教育課程及び学習指導その他の学校教育に関する専門的事項の指導に関する事、特色ある学校づくり事業、就学指導・相談に関する事、特別支援教育に関する事、市立学校職員の研修に関する事、学校評価に関する事等である。

○いわての復興教育学校支援事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成25年度「いわての復興教育」学校支援事業実施要項に基づく岩手県からの委託事業である。遠野小学校が推進指定校として全校表現活動「遠野の里の物語」を通じて3つの教育的価値（「いきる」「かかわる」「そえる」）に積極的に取り組んでいることは評価でき、事務も適正に執行されていると認められる。

○道徳教育総合支援事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

岩手県道徳教育推進事業実施要項に基づく岩手県からの委託事業であり、小友小学校が研究指定校として『心豊かでたくましい児童を育てる道徳教育－郷土を愛し、その復興・発展を支える「ひとづくり」をめざして－』を研究主題に取り組んだ。家庭や地域と連携し、ゲストティーチャーを招いての講演会や交流会を実施するなどしており道徳教育の充実が認められる。

12 教育研究所

所管事務は、教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査並びに研究に関すること、教育に関する実態の調査に関すること、児童生徒の教育相談に関すること、教育関係資料の収集及び紹介に関すること、教育関係職員の専門研修に関すること、幼児の言葉指導に関すること等である。

○教育研究所費（小中学校の学力向上について）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市立中学校再編成により中学校が3校になったことを機に、中学校区ごとの枠組で小学校とともに学力向上に取り組んでおり、学力と知力の相関を見るために従前の標準学力検査（NRT）に加えて新たに小学校2年生から中学校2年生まで知能検査を実施し、その結果分析を行って、授業改善等に役立てる取り組みがなされていた。教育相談員4人の配置や教師の加配等人的体制も強化されるなど学力向上の取り組みが充分確認でき、2～3年後に効果が現れると期待したい。

【共通事項】

各課等で該当する使用料・手数料、郵便切手の保管及び受払、車両の運行管理については、特に問題点は見受けられなかった。また、今回は各団体の経理事務の状況についても監査したが、出納簿、関係会計書類についても特に問題点は見受けられなかった

○現金の保管状況（通帳等）

通帳の保管状況は、平成25年11月30日現在、次表のとおりである。

なお、遠野市に属するもの及び団体等の通帳を含め預金通帳を多く保管している課等は、小友地区センター及び松崎地区センターで各11冊、預金通帳残高が多い課等は、生涯学習スポーツ課で4,501,194円、今回監査対象20課等(学校は除く)で計95冊、合計金額が20,971,498円となっている。

市の公金と同様定期的にチェックするなど、不正防止に向け今後もより一層厳正に取り扱われたい。

特に各地区センターにおける各種団体の会費及び募金等の集金は、現金を一時保管し入金している状況もあることから、厳正に取り扱われたい。

No.	課 等 名	通帳冊数	預金残高(円)
1	文化課	1	0
2	調査研究課	1	0
3	市民協働課	8	3,166,112
4	生涯学習スポーツ課	10	4,501,194
5	遠野地区センター	7	1,615,548
6	綾織地区センター	7	2,672,067
7	小友地区センター	11	1,628,898
8	附馬牛地区センター	8	1,133,716
9	松崎地区センター	11	2,640,454
10	土淵地区センター	8	813,326
11	青笹地区センター	6	2,354,627
12	上郷地区センター	3	273,364
13	宮守地区センター	10	136,192
14	子育て総合支援課	1	0
15	教務課	1	36,000
16	学校給食センター	1	0
17	学校教育課	1	0
合	計	95	20,971,498

○物品の管理及び出納

物品の管理及び出納については、備品管理一覧表に基づき職員からの聴取により監査を実施した。

物品の管理及び出納については、特に問題点は見受けられなかったが、学校で行う少額備品購入事務において、最低見積り業者と異なる業者に発注する事務誤りが小学

校1校にあったことから、チェック体制の強化を図られたい。

市内中学校再編成に伴う物品の廃棄や所管替え等の事務にあたっては、遺漏のないよう万全を期していただきたい。

○その他(小中学校について)

・安全指導(避難訓練・防犯対策)について

東日本大震災を教訓に、地震や火災を想定した避難訓練、不審者を想定した訓練など、児童・生徒の安全面に配慮した危機管理がなされていると認められる。

また、局地災害に対応した訓練を実施している学校も一部ではあったが、立地環境から起こりうる局地災害についても、今後対応が必要と思われる。

・安全点検について

毎月初に定期的に安全点検や確認がなされており、児童・生徒が安全に安心して学校生活を送れる状況であると認められる。また、学校用務員が研修の一環として共同で各学校の環境整備を行っていることは評価できる。

・校内の整理整頓について

新設中学校の中には備品等の整理が終了していない学校があったものの、概ね学校生活を送るうえでの基本である整理整頓が良くなされており、児童・生徒が気持ち良く授業を受けられる状況であると認められる。

・特色ある教育活動について

各学校とも地域の特性を生かし、昔話や郷土芸能等の伝承活動及びスクールバンドや合唱等の音楽活動等の教育活動、PTA、地域と連携した地域に根ざした特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいると認められる。

・学校のアレルギー疾患に対する取り組みについて

平成25年度から食物アレルギーの代替食の提供が可能となった新しい学校給食センターの供用開始に伴い、各小中学校で児童生徒の食物アレルギー疾患の把握と学校給食への対応がとられていたが、最近では児童生徒のアレルギー疾患の有病率が増加していることから、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づき、全教職員がアレルギー疾患に対する理解を深めるとともに「アナフィラキシー病型」の児童生徒が在籍している場合は、主治医、学校医、保護者と「エピペン（アドレナリン自己注射薬）」の管理等について十分協議することを望む。

市内小中学校に対する物品の管理及び出納の実地監査での意見等は、次のとおりである。

学 校 名	監 査 意 見 等
遠野北小学校	特に問題点は見受けられなかった。 物品購入に関わる事務処理は、タイミングを逸することなく調達して管理し、校内外の整理整頓や安全についても把握されているなど児童が気持ち良く学校生活を送れる環境であると認められる。また、学びフェストの教育目標を保護者に明確に示したうえ

	<p>で、学校での取り組み、家庭での取り組みを数値で具体的に定め、それに対する評価を行うことによってPDCAサイクルが機能し、教育目標が達成できる仕組みづくりがなされていた。学年ごとに地域の方々と行う活動についても他校の模範となるものとして評価できる。</p>
綾織小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。特色ある学校づくり事業として「ふるさと綾織学習」に取り組み、地域の方々の指導の下、米作り体験学習、裂き織体験学習、昔話学習、交流学习等創立140周年に向けた地域に根ざした学校運営が行われていた。また、小規模校から大きな中学校へ生徒を送り出すにあたって、環境の変化に臆することのないようにとの先生方の努力も感じることができました。</p>
小友小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。小規模校の中で支援を必要とする児童の対応のために地区センターの児童クラブと連携して教育目標達成へ取り組むなど人間味あふれる教育内容が見られた。「生活リズムと学力の関連分析」を行い、地域教育協議会の協力によって月2回発行の学校便りを学区内全世帯に配布している。学校、家庭、地域の連携で子どもを育てる体制を確立し、教職員自らが教育目標達成に取り組む姿勢等が伺われた。</p>
宮守小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>少額備品購入事務は適切に実施されている。課題に対する振り返りをすることによって習熟度確認をする授業が行われている。復興教育の推進では毎月11日をボランティア活動の日と定めて活動している。</p>
達曽部小学校	<p>少額備品購入事務において、最低見積り業者と異なる業者に発注する事務誤りがあったことから、チェック体制の強化を図られたい。</p> <p>林野火災を想定した避難訓練も実施されており、立地環境に合わせたより具体的な安全対策がとられていた。</p>
鱒沢小学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。小規模校から多くの生徒と学習する中学校へ送り出すための様々な事業に取り組み、強い意志と判断力を養う授業も行われていた。</p> <p>また、PTA会員以外の学区内の方が会費を納めて準会員として学校便りの配付を受けているほか、学区民合同大運動会を開催するなど「地域の学校」として学校運営を支援する小規模校ならではの取り組みが見られた。</p>

遠野中学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>新設1年目ということもあり、備品や図書整理にはもう少し時間が必要と思われる。公金管理、校舎内外の安全管理、スクールバスの運行については特に問題は見受けられなかった。学校運営は教職員、生徒が再編成という大きな変化に対し、明確な目標を定めベクトルを一つにして着実な対応がなされていた。</p>
遠野東中学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>中学校再編成後1年目という大きな変化への対応、それまでの三校の伝統を活かしながらの新しい伝統の創造、そしてそのために欠かせない地域との密接な連携、この三方針が徹底されていた。スクールバスも有効に運行されており、各郷土芸能の伝承活動も各地区で力強く取り組まれていた。</p>
遠野西中学校	<p>特に問題点は見受けられなかった。</p> <p>早目に物品購入をし、授業に活かされていると認められる。学校通信を通じて新設1年目の学校の様子を周知している。学校要覧、学校運営機構図、学びフェスト、教師の10カ条からは充実した学力向上への取り組みも伺われる。また、再編成という大きな変化の中で、様々な課題に直面してもできない理由にとらわれず解決の糸口を追求することで、新しい西中文化を創造しようとする姿勢を随所に感じた。</p>